

戦争法廃止を求める世論を圧倒的に広げよう。5月3日の憲法記念日に向け、2000万人を目標に「戦争法廃止を求める統一署名」が全国でとりくまれています。その思いは…。北村隆志、田中倫夫記者

ペン  
志族の活動

# 戦争法廃止する 2000万人署名を



基地の街で幅広い推進の会

戦争法廃止署名をよびかける「横須賀ALL's」の人たち＝1月30日、神奈川県横須賀市



戦争法廃止のスタンディングを行う中川さん(右)＝1月29日、神奈川県横須賀市

米軍・自衛隊の基地の街、神奈川県横須賀市(人口約40万人)。ここで幅広い市民や団体、日本共産党や生活者ネット、無所属の議員らが「戦争法廃止2000万人全国統一署名・横須賀」を結成(1月)。し、7万人を目標に署名集めに取り組んでいます。

水雨が降りしきる京浜急行汐入駅。米軍基地に近く、米兵と思われる若者の姿が目立ちます。

「誰も戦場に送らない!」「署名集めてます」などのプラスターを掲げ、毎週スタンディングをするのは、中川茂さん(61歳、音楽家)。無党派の市民運動を長年続けてきました。

中川さんは、みずから申し出て会の共同代表になりました。

「横須賀ではそれぞれの団体がそれぞれの運動をやっています。しかし、戦争法を廃止するためには、大きくまとめる必要があります。安倍首相のやっていることはムチャクチャ。7万人署名を成功させ、アベ政治をやめさせたい」

スタンディングには、中川さんの行動に共感して毎回10人前後が参加しています。

「全国統一署名・横須賀」のなかで大きな役割を發揮しているのが、「横須賀ALL's」として横須賀中央駅前で行われることもあるといいますが、署名した68歳の男性は「昨年、自分も(戦争法案反対の)デモに飛び入りで参加した。いま党派を超えて力をあわせることが大切だ」と話します。13日には「ヨコスカで7万」めざしてがんばる集会が開かれました。

横須賀ALL'sの行動に毎回参加する川原栄子さん(シャンソン歌手)は話します。

「安倍政治の暴走が問題になっているときだからこそ、立場、党派を超えて大きな協力ができることになったのはすばらしいこと。基地の街、横須賀でぜひ7万人の署名を集めるためにがんばってきたいと思っています」

が、「横須賀ALL's(オール's)」。戦争法廃止の一点で市民有志が集まりました。「戦争に行かない、誰一人行かせない」が合言葉。賛同者は千人を超えています。

市内の10近くの地域に「地域ALL'sの会」があり、それぞれが署名にとりくんでいます。

毎週土曜日には「横須賀ALL's」として横須賀中央駅前で行われることもありますが、署名した68歳の男性は「昨年、自分も(戦争法案反対の)デモに飛び入りで参加した。いま党派を超えて力をあわせることが大切だ」と話します。13日には「ヨコスカで7万」めざしてがんばる集会が開かれました。